

地域再生営漁計画

(平成30年度～令和4年度：5年間)

I 活動計画

1 活動項目

項目		取組内容
人づくり	養殖経営体の規模拡大	<p>養殖経営体の経営基盤を強化することにより、持続可能な生産体制を構築し、高品質な生産品を長期にわたり安定的に供給できる体制を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営規模拡大の推進による中核的漁業経営体の育成 ・経営規模拡大に必要な労働人材の確保、省力化・機械化等の支援 ・浜の活力再生プラン、広域浜プラン等を活用した支援 ・経営能力の向上に向けた支援 <p>≪目標（経営体）：H30（10）、R1（11）、R2（12）、R3（13）、R4（14）≫</p>
	新規就業者の受入・確保	<p>新規就業者の確保・受入を推進するため、「宮古市漁業就業者育成協議会」の取組に積極的に参画するとともに、「宮古市新規漁業就業者支援事業」等の活用により定着を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業体験等を通じた水産業の魅力発信 ・リーディング漁家と連携した就業希望者の受入体制の整備 ・受入後のフォローアップによる定着支援 <p>≪目標（人数）：H30（3）、R1（3）、R2（3）、R3（3）、R4（3、延べ15）≫</p>
場づくり	養殖生産体制の強化	<p>養殖経営体の意欲に応じた漁場配分による規模拡大や機械化等を促進することにより生産性の向上を図るほか、養殖種目の追加の可能性を探るための試験養殖等の取組を推進し、養殖生産量の増大を目指す。また、養殖経営体への種苗の安定供給による計画的な生産支援について、引き続き実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大を目指す漁業者への積極的な漁場配分 ・生産性の向上に向けた支援 ・浜の活力再生プラン、広域浜プラン等を活用した支援 ・新たな養殖種目の追加の可能性の検討 <p>≪目標（養殖生産量 t）：H30（433）、R1（433）、R2（433）、R3（440）、R4（450）≫</p>
	つくり育てる漁業の推進	<p>重要な磯根資源であるアワビの種苗放流、ウニの生息密度管理のほか餌料環境改善など漁場環境の保全等に取組むことにより水揚げ向上を図るほか、カキ及びアサリ等の地場採苗実現に向けた試験の継続により安定的な種苗確保の可能性に向けた検討を実施する。また、共同漁業権及び区画漁業権の行使規則の柔軟な運用について、引き続き検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磯根資源の適正管理 ・餌料環境改善等漁場環境の保全 ・浜の活力再生プラン、広域浜プラン等を活用した支援 ・地場採苗実現に向けた取組の実施 <p>≪目標（アワビ・ウニ漁獲量 t）：H30（11）、R1（11）、R2（11）、R3（12）、R4（13）≫</p>
価値づくり	水産業の6次産業化に向けた取組	<p>漁業者による水産業の6次産業化に向けた取組を支援し、生産品の高付加価値化による収益向上や、経営の多角化による経営の安定化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化に向けたノウハウの蓄積、経営基盤の強化 ・生産品の高付加価値化 ・販路の確保 ・浜の活力再生プラン、広域浜プラン等を活用した支援 <p>≪目標（6次産業に取組む漁業者の販売金額 千円）：H30（5,763）、R1（5,763）、R2（5,763）、R3（5,900）、R4（6,000）≫</p>
	水産物の付加価値向上と販路確保	<p>魚市場での衛生管理の徹底等、水産物サプライチェーンの高度化に取組むことにより定置漁獲物の単価向上を図るほか、養殖生産品等の出荷形態を工夫し新たな販路を開拓するなど、付加価値の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置漁獲物の鮮度管理・衛生管理の徹底（H28.12にIF[®]HACCPを取得） ・養殖生産品当の新たな出荷形態の検討及び販路の開拓 ・浜の活力再生プラン、広域浜プラン等を活用した支援 <p>≪目標（定置水揚げ及び養殖生産額 百万円）：H30（1,256）、R1（1,256）、R2（1,256）、R3（1,260）、R4（1,270）≫</p>